

ライフスタイルと住まいづくりからみたホームレスハウスの特性

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 大阪市立大学大学院工学研究科都市系専攻 公開日: 2020-04-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 野田, 裕介 メールアドレス: 所属: 大阪市立大学
URL	https://ocu-omu.repo.nii.ac.jp/records/2011333

ライフスタイルと住まいづくりからみたホームレスハウスの特性
CHARACTERISTICS OF HOMELESS HUTS THROUGHOUT JAPAN
FROM THE VIEW OF THE LIFESTYLE AND HOUSING STRATEGY

建築計画分野 野田 裕介
Architectural Planning Yusuke NODA

近年エネルギー消費を低減し、省力化が図られることが求められている。そこで本研究は、自立
的で、コンパクトな住まいと暮らしを展開するホームレスに着眼し、ホームレスハウスのつくら
れ方（敷地・配置・形態）の特質と住まい方や人間関係の独自性を明らかにすることで、一般住宅
と相対化することを目的とする。ホームレスハウスには現代の住まいにはない、「弱い計画性の
統合」による、効率的で豊かな住まいと暮らしがみられた。
In recent years, it is required to reduce energy consumption and promote energy saving. Therefore, in this
research, we focus on homeless who live in a compact residence and send a minimum lifestyle. We clarify
the characteristics of homeless huts creation method (site, arrangement, form), how to live and the
uniqueness of human relations. It aims to make it relative to general homes. In the homeless house there
was an efficient and amenity living composed by subdivided planning not in modern homes.

1 はじめに
1.1 背景・目的

環境共生型住宅に代表されるように、エネルギー消
費を低減し、省力化が図られることが求められている
ものの、我々の暮らしにおいて、電力や燃料をはじめ
として社会システムやインフラ、カネとモノ等に依存
する生活や住まいは、ますます比重を高めている。持
続型社会においては単に資源消費の抑制に留まらず
に、依存型の生活から脱却し、生活スタイルそのもの
を自立的でコンパクトなもの、「弱さの統合」へと転
換する必要があると考えられる。本研究は、2020 年東
京オリンピックに向けての排除が行われる中、現存す
るホームレスハウスの実態を記録し、自立的で、コン
パクトな住まいと暮らしを展開するホームレスに着眼
し、ホームレスハウスのつくられ方（敷地・配置・形態）
の特質と住まい方や人間関係の独自性を明らかにする
ことで、一般住宅と相対化することを目的とする。
1.2 調査概要
一般的な家と区別するために、本論文では、ブルー
シートやダンボール等で作られたホームレスの住処
を、ホームレスハウスと表現する。「全国ホームレス
調査（ヒアリング）調査都市別」（厚生労働省 / 2016 年）
1) より調査地域を選定し、12 都道府県にて立地の記録、
写真での記録、作られ方、住まい方、コミュニティー

についてのヒアリング調査、図面採集を行った。2016
年の調査内容 2) も踏まえ、126 件（うちヒアリング：
30 件 写真での外観の記録：101 件）（他、立地分類の
みの記録：183 件）の事例について分析を行った。表
1 に各都道府県、各場所における調査件数、表 2 にヒ
アリング調査概要一覧を示す。

2 ホームレスハウスのつくられ方
2.1 敷地選定

図 1 に敷地の分類を示
す。敷地を屋外、半屋外、
屋内と分類する。屋外に建
つホームレスハウスが最も
多いが、半屋外に建つもの
も屋外の 3 分の 1 程度の数
がみられた。街の中からう
まく雨をしのげる場所を探
して、住まいづくりを容易
にしている。屋内に構造物
を構成する例はみられな
かった。また、表 3 に各敷
地の用途別の特徴、図 2 に
各敷地用途の件数と屋外、
半屋外の割合を示す。河川
敷に建つホームレスハウス

表 1 事例件数

都道府県	場所	調査件数
沖縄 OK	新港ふ頭中央緑化公園 A	3
	漫遊公園(右岸) B	1
	漫遊公園(左岸) C	3
	新港ふ頭北緑地 D	2
	若狭公園 E	1
鹿児島 KG	天保山シーサイドブリッジ A	1
熊本 KU	下江津橋 A	1
	加勢川橋 B	1
福岡 FO	久留米 筑後川 A	8
	福岡 舞鶴公園 B	3
	福岡 須崎公園 C	1
	福岡 那珂川 D	2
	北九州 紫川 E	1
広島 HS	広島 A	2
兵庫 HG	武庫川 A	12
大阪 OS	大川 桜ノ宮橋 A	4
	淀川 城北ワンド B	1
愛知 AI	名古屋 若宮大通 A	29
	名古屋 名城公園 B	3
	岡崎 矢作橋 C	1
	岡崎 南公園 D	1
静岡 SZ	浜松 新天竜川橋 A	1
	静岡 静岡市民文化会館 B	1
神奈川 KN	湘南防風林 A	2(約6)
	横浜 B	1
	多摩川 A	(約150)
東京 TY	代々木公園 B	6(約15)
	池袋 C	7
	首都高高架下 D	12
	隅田川 E	4
	宮下公園 F	1
	上野公園 G	1
	大宮 宮原公園 A	3
埼玉 ST	荒川 B	3(数件)
宮城 MG	仙台 青葉山公園 A	4
北海道 HK	札幌駅 A	1

単位：件）カッコ内の数字は立地分類のみ

表2 ヒアリング調査概要一覧

都道府県	場所	事例名	基本情報			つづら方										生活					コミュニティ		特記事項									
			人数	性別	年齢	主・副主人	集住	集落	定住	建物有無	建物型	敷地	敷地用途	敷地選定理由	形状	構造	材料	技術習得	気候への対応	撤去への対応	住み替えや移住の経緯	収入源		食卓	水	入浴	余暇・趣味	他チームとの交流	地域との関係			
沖縄 OK	新港ふ頭中央緑化公園 A	OKA1	1	男	50代	3年	×	○	定住	有	1	屋外	公園	他の公園は草が生えているから	タープ型	引張構造	ブルーシート、発泡スチロール、ロープ、すのこ、既製品、テント	-	台風時はおりたんで友人宅へ避難、西側は半屋外で風通しを良くしている	他の公園よりかはよい	最近の雨は1週間、今の建物は建てた	収入はゼロ	友達にももらったりとか	近のトイレから汲む	トイレの水を浴びる	ラジオ	あまりない	友人が遊びに来る（ヒアリング時も最初に声をかけたのは知り合いに申し込んだ）	すのこで囲い、日中は公園の日陰にデッキ椅子を出してラジオを聴いて過ごす			
熊本 KU	下江津橋 A	KUA1	1	男	60代	13年	×	×	定住	有（橋）	1	半屋外	河川敷	雨に当たらないから	依存型	依存型	ビニールシート	かつて住んでいた人と一緒に作って技術を習得した	ビニールシートの風よけ	特になし	誰かが住んでいた跡に入った	アルミ缶拾い	買ってきてコンロで調理	公園で汲んでくる	ばつんの湯	-	以前は10人住んでいたがなくなった	自分からは喋りかけない	梁の隙間を活用、熊本地震の影響で20cm下がった			
久留米 筑後川 A	FOA1-a	1						○	有	2	半屋外	河川敷	トイレとコンビニが近いから	依存型	依存型	木、ブルーシート、縦マツ、すだれ	-	-	-	ホームレス初期に住んだ場所	日雇い	食材を買って、コンロで調理	-	近くのトイレから汲む、トイレが近かったためその敷地を選んだ	銭湯	タバコ	FOA2の家を作ったが、お酒の勢いでもめる	-	FOA3に誘われて来たが、もめて出ていこうになる	小森井橋、梁の隙間を活用		
	FOA1-b	1	男	50代	2年	×	○	定住	有	1	半屋外	河川敷	広いところに移りたかった、知人に誘われた	陸屋根型	柱梁構造	木、ブルーシート、縦マツ	-	-	-	FOA3に誘われて、広ひたいてと暮らす	-	-	-	-	-	-	-	-	-	二千年前、天井2m9畳の広々としたホームレスハウス		
	FOA1-c	1						×	有（席巻）	1	半屋外	河川敷	隣人と距離のあるところへ住みたかった、スーパが近い	-	-	木、ブルーシート、波板	-	風が強い為、床板を2枚重ねにする	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	豆津橋、現在はいずらによって壊されている		
	FOA5	1	男	60代	10年	×	×	定住	有	1	半屋外	河川敷	以前の場所が強い出され、怒られない、雨風が強い	ドーム型	ドーム	既製品のドームテント、ブルーシート	-	-	-	河川法を気にかけて、固定した建物に建てていない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	テント1棟は生活用、1棟は物置		
福岡 FO	福岡 舞鶴公園 B	FOB1	2	男、女1	80代	10年	○	○	定住	有	3	屋外	公園	-	自在型	組積+ドーム+柱梁	ブルーシート、傘、自転車、荷物	-	冬はストーブを焚く	これ以上広げない、火はできないだけ使わない	持っているマンションの住所でもらっている年金	できるだけ弁当を買ってくる、火はばつれいように使う	公園のトイレで汲む	銭湯に毎日入る	-	-	-	もらった空き缶を飾る	散歩に来た人話す			
広島 HS	広島 A	HSA1	1	男	-	6年	×	×	定住	無	0	屋外	公園	最初荷物を置くあだった	なし	建物なし	ブルーシート、ダンボール、荷物	-	冬になると夜は商店街で寝る	なし	公園内で移動	公園のそばの不動産屋のアルバイトで買う、給う	アルミバケで買う、給う	お風呂み水道で汲む	水を汲んで浴びる	-	-	-	-	不動産屋に掃除のアルバイトとして雇われている	公園のベンチで寝泊りして、荷物も集会所の裏へ置いている	
兵庫 HQ	HQA2	5	男	60代	5年	○	×	定住	有	8	屋外	河川敷	浸水したため、高台の今の場所へ来た	切妻型+片流れ型	柱梁構造	木、穴あきアングル、ブルーシート	-	バーベキュー、木のそばに建て	-	テントが流れて今のところへ来た	拾い	自分で作る	-	銭湯	-	-	-	いたずらに出来ないよう集まって暮らす。知り合ったのは拾い	武庫川のホームレスハウス集落の最南端に位置する。ホームレスハウス群。HQA3とHQA4の間に放牧場があり、夏場はここで放牧が行われる。季節によって作り変え、住み替えが行われる。			
	HQA4	5	男	60代	5年	○	×	定住	有	8	屋外	河川敷	いたずらに遭ったため誘ってもらった	切妻型	柱梁構造	木、ブルーシート	-	探光部、床下空間、放牧場の作り変え、放牧場の使い分け、冬はストーブを焚く	-	タイズラに遭って今のところへ来た。季節によって作り変え	商品回収	-	飲み水は買う。手洗いとかは公園の水	月1ぐらいで銭湯、お湯を沸かして浴びる	-	-	-	集まって暮らす。放牧場は手	集まって暮らす。放牧場は手			
	HQA6	3	男、女1	父70代、息子30代	10年	○	○	定住	有	1	半屋外	河川敷	-	陸屋根型	柱梁構造	木、ブルーシート、コンクリートブロック	-	息子が大工をやっていた	通風口、側溝	-	はじめた頃はテントで暮らし、イタズラで燃やされたことがある。雨に当たらないのでブルーシートを張ったことは無い	拾い	買ったままのものを食べる	公園で汲んでくる	週1回銭湯	-	-	-	最初は近所さんがテントをくれた。HQA11.12と共用のビンテージを持つ。HQA11を作ったあ	家3人で暮らすホームレスハウス。橋の下にHQA11.12と共用のビンテージがある		
	HQA7	2	男	60代	3年	○	○	定住	有	2	半屋外	河川敷	雨に濡れない	陸屋根型	柱梁構造	木、ブルーシート、コンクリートブロック、縦マツ、人工芝	-	-	-	かみうして園に許可をもらっている	-	拾い	3tトラックで引き取りに来る	許可をとって公園で汲んでくる	週1回銭湯、缶で6種類もの薬物の野暮をやる	-	-	-	2人で住むが、同じ敷地が作ったホームレス集落の他の人とは仲が悪い	橋の下に目黒川が流れている。周りに目黒川が流れている。周りに目黒川が流れている。周りに目黒川が流れている。		
	HQA10	1	男	77歳	13年	×	×	定住	有	1	屋外	河川敷	ぎつり屋で働けなくなった場所へ住み始めた	タープ型	引張構造	足場パイプ、竹、ブルーシート	-	台風時は玄關の位置を変える	-	市、土木事務所、警察の許可を申請して建てた	販たとしていたが、ぎつり屋になってそこで暮らす	拾い	米を自分で焚いている	-	水を汲んでくる	-	-	-	同業者は立ち入り禁止	橋の下に家を置いて主屋として、屋外に放牧場や物置を設けている		
大阪 OS	大川 桜ノ宮橋A	OSA2	1		70代	-	×	○	定住	有（橋）	0	半屋外	河川敷	-	依存型	依存型	なし	-	夜露をかぶる、橋の下で寝る	-	拾い	買ってきて調理	-	たまたに銭湯	-	-	-	-	-	橋の下に家を置いて主屋として、屋外に放牧場や物置を設けている		
愛知 AI	AIAS	1	男	60代	-	×	○	定住	有	1	半屋外	公園	愛知方面のとき大に大場所として提案された	切妻型+陸屋根型	組積+柱梁	ブルーシート、木、ブルーシートの箱	-	昔、現場に行っていた知識が生かされた	これからはもう少し置くつもり	方	拾い	-	-	-	-	-	-	-	-	高層下の広場の中央に配置、仮設のため、周囲に物が置いている		
	AIAS6	3	男、女1	50代	6年	○	○	定住	有	1	半屋外	公園	屋根が広く、中央に場所が取れたから	片流れ	壁式構造	木材、ブルーシート、縦マツ	-	建築をやっていた主が作った	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3人で暮らすシェアハウス、廃材で構成	
	AIAS11	1	男	60代	-	×	○	定住	無	0	半屋外	歩道	物に干ぐ場所がない	依存型	依存型	布、スポンジ	-	前もって集める	-	前は軒たとしていた	拾い	3人で暮らす	-	-	-	-	-	-	-	-	歩道に布団を敷いている	
	AIAS14	1	女	-	10年	○	○	定住	有	1	半屋外	歩道	知り合いに人居させてもらった	陸屋根型	柱梁構造	ブルーシート、木	-	若いときに建築をやっていた主が作った	-	よく言い合いをする	以前は車むらの方に住んでいた	イオンへバスで買い物に行く	-	-	-	-	-	-	-	友達がいる。		
	AIAS19	1	男	61歳	-	○	○	定住	有	1	半屋外	公園	広くて雨のあたらない場所を選んだ	ドーム型	ドーム	ドームテント、ブルーシート、人工芝、すだれ	-	-	-	3回ほど引越してきてきた。テントも途中で交換した	商品回収、貴重品の店出さへての即席	イオンで調理、低収入の日は炊飯	-	-	-	-	-	-	みんな親見知りだが、話す人は少数	高層下の公園に2軒ドームテントが並ぶ、仲はよいが生活は別		
	名古屋 名城公園 B	AIB1	1	男	-	-	×	×	定住	有	1	屋外	公園	広い場所にしたが、遠いから今の場所に移した	ドーム型	ドーム	ドームテント	-	雨対策で木のそばに建てた。台風が来たときに木に干ぐ	提問はテントをたてた	公園に言われて転々としてきた	-	-	-	-	-	-	-	-	テントを建てて、日中はベンチに座って過ごしている		
静岡 SZ	静岡 静岡市民文化会館 B	SZB1	1	男	74	14年	×	×	定住	無	0	屋外	公共施設	苦情の来ない現在の場所に落ち着いた	なし	建物なし	傘	-	傘でのく、台風時はコンビニへ逃げ	場所の考慮、施設との関係	苦情によって2度場所を移した	年金	まとめ買いして調理、1日2食	-	トイレでお湯張って体拭く	-	-	-	-	自転車泥車と花を運び捨てる人の監視		
神奈川 KN	湘南防風林 A	KNA1	1	男	63	8年	×	○	定住	有	1	屋外	砂防林	ここに住んでいた人に誘われた。シンワートイレが近く、静かな場所	切妻型+片流れ型	柱梁構造	足場パイプ、木、床、建具、フラダ	-	水害関連の会社で設計をしていた。解体の日雇いで力強い感覚は身についていた	あまり大きく作らず、石造の土間に、砂防林で地形的にも風心配はない	特にない、あまり大きく作り過ぎないが作られた	仕事に行っている	食材を買ってきて調理	トイレから汲んでくる	サーファーズ用の無料シャワー	-	親見知りだが深く聞かない、教食で知り合う	挨拶程度	砂防林の中のホームレス集落の一角にある。夜露、ダイニングキッチン、土間玄關の部屋に分かれている			
		KNA2	3	男	33	13	○	×	定住	有	1	屋外	砂防林	親方に誘ってもらって住み始めた	片流れ型	柱梁構造	足場パイプ、ブルーシート、木、ロープ、波板	-	親方が作った	-	風に強い。雨漏りがあるのでブルーシートを要する。冬は薪ストーブを焚く	-	-	-	-	-	-	-	-	親分がいてみんなを連れてきた。砂防林のフェンスに干ぐ形で暮らす		
東京 TY	代々木公園 B	TYB1	1	男	70代	3年	×	○	定住	有	1	屋外	公園	-	かまぼこ型	アーチ	義理シート、既製品	-	自分の物（ジーンズ）を洗っている	月に1回たためる形にしている	-	線を売っている	-	-	-	-	-	-	-	-	フリーマーケット等に出品、取材も	
		TYB2	1	男	48	14年	×	○	定住	有	1	屋外	公園	-	タープ型	ドーム+引張	ドームテント、ブルーシート、木、ロープ	-	昔、ホームレスハウスマーカがいた	-	月に1回たんでいる	元々50mぐらい先のところから来た（同業者共）、土台が干渉	月に2回おきに行き、アーチで干渉	-	-	-	-	-	-	物々交換のフを聞く、続を聞く		
		TYB3	1	女	47	13年	×	○	定住	有	-	屋外	公園	-	-	ドーム+引張	-	-	-	-	-	線を売っている	-	-	-	-	-	-	-	-	カフェのお客さんと話す	
埼玉 ST	荒川 B	STB2	1	男	60	17年	×	○	定住	有	1	屋外	河川敷	釣りが趣味で、テントを張ったのがきっかけ、震災のひびきで止まっていたが、震災のとき、水が止まっていたので友人に誘われた	片流れ型	柱梁構造	足場パイプ、ブルーシート、木、波板	-	昔、重仕事をやっていて	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	釣	以前は女性と2人で暮らしていた	
宮城 MG	仙台 青葉山公園 A	MGA1	1	男	60	-	×	○	定住	有	1	屋外	公園	-	切妻型	柱梁構造	ブルーシート、木、ダンボール、コンクリートブロック	-	かつて重仕事と大工をやっていた	夏場は涼しい、冬は周囲の人と3人で暮らす	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	テントがあるから安心して散歩に来ると言ってもらえる	木の骨組みとブルーシートの外装、ダンボールの内装で構成
		MGA3	1	男	60	-	×	○	定住	有	1	屋外	公園	建てられる場所が少ない	かまぼこ型	ドーム+アーチ	竹、ブルーシート、ドームテント、傘、針金、人工芝	-	-	-	かつてはバスミキで風が強い、屋根に風が強いのでここにきた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	床を上げ、ドームテントを載せ、その周囲に竹をならせたアーチにブルーシートを張っている	
北海道 HK	札幌駅 A	HKA1	1	男	60	-	×	○	移動	無	0	半屋外	バスターミナル	-	依存型	依存型	既存ベンチ	-	夜はバスターミナルで風が強い、昼間に暖かい場所へ移る	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	基本的にはベンチに座って寝る	

太梓：「ホームレスハウスをとりまくライフスタイルからみた現代における住まいづくりへの応用の可能性に関する研究」（野田裕介 / 大阪市立大学卒業論文 / 2016.3）調査内容

材料	利用	件数
ロープ	固定、引っ張る、物を吊るるといった様々な用途に利用されるため、必要不可欠である。ロープの種類は事例によって異なる	114
ブルーシート	防水性・遮光・安価で持ち入れやすいため、ほとんどのホームレス・ハブスで用いられる。屋根、壁などの、あるいは防虫網として使われている。入手方法としては買ったものが多い	67
木材	柱や梁、床材、壁、家具など幅広い用途で使われる。デントなどとの場合であるので使えない事例も多い。入手方法としては外資で買ったものが多い	27
既製品デント	建ててから、使われている事例が多かった。ブルーシートを外壁として併用している事例がほとんどであった。使用理由として、折り畳みができるため、撤去場所がないからという点があった。購入されたものがほとんどだが、安価な建築地もある。しなるので、骨組みの隙間を埋める例もある	15
ダンボール	壁に使える。スーパーなどで無断でもらえるものが、隙間と使えたりする。雨に濡れない場所や内装に収められる。主に移動式で多く、簡易的な壁として、簡便に使える	7
傘(パソル)	雨をよける。骨組みも組み合わせているので、屋根や壁として使われている事例がみられた。柄を固定員として使っている事例も多かった	6
足場/パイプ	工事現場に使用されるもので、かなり頑丈である。リサイクルショップで中古のものを買った。主に東日本で見られる	7
荷物	荷物を積み重ねることで形を形成している	5
すてん	白紙として、夏場に風を取り入れる	4
台座	修繕式の基本の形である	5
コルク/ブロック	美観に役立つ。重量がある	4
竹	緑が必要な部分や、しほらせる部分に使える	3
すのこ	木や板材が等間隔で並べられ、板状になっているので、風を通の良い目隠しとして使われる。隙間にもものをかけられるというメリットがある	3
波板	透明度もあり、風通しに良いとされる	2
既製品タープ	ある程度の強度で、天井も兼ねられる。壁がないためブルーシート等で作成する必要がある	1
自転車	構造的に使用されているのがみられた。また、修繕式として大きな資物が運ぶのを助けて置かれた	2
白色ビニールシート(壁 風養生シート)	ブルーシートの色違いである。日光を室内へ取り入れることができる	2
ブリキの箱	もってこれるものを積み重ね、周囲にブルーシートを被せている。重ねたものに塗料をかけて天井高を出している	2
床板具	解体現場から出てくる。そのまゝの用途で使ったり、ブロックのように組み合わせて使ったりする	2
段々つみ	床の仕上げとして使われる。コンパニの上へ敷く	3
人芝	内側と内側がよい。軒下や壁面下の作業スペースに敷かれる	2
針金	釘や紐と使われるので、重なりでかかって通って使う	3
既製品セルロースハブス	壁面に丈夫な面がある事例がある	1
発泡スチロール	天井に使われているのがみられた	1
フタダン	内側や、屋根材として使われる。水も強い	1
スチロジマツ	隙間に充填するため、クッション性・断熱の役割を果たす	1
ぬいぐるみ	自分の身体を袋に取入れられる	1
紙	けいぞくとして使う。遮光も押さえることができるが、加工できない	1
穴あけドリル	隙間に使われる。穴の両側の材料、穴の両側を併用できる	1

図 10 KNA1 作り変え

3.1.2 生活全般

食事

買って調理するといった例が多くみられた。【FOB1】では火を使うと公園に注意を受けるため、極力火を使わないものを買って食べている。食事にも周囲の環境が影響している。また、炊き出しが頻繁に行われている地域も多い。【HSA1】はアルバイト代がないときはゴミから食べられるものを探している。人々の生活から溢れ出たものを活用して生活している。

水

水は公園やトイレなどの水道で汲んで使っている例がほとんどであった。水は生活必需品であることから、敷地を選ぶときなどでも大きな指標となる。公共の施設を活用している。

入浴

銭湯を使っているといった例が多くみられた。公共の施設が活用されている。また、汲んだ水を浴びるといった例も多くみられた。【OKA1】では、沖縄にはお風呂に浸かるといった文化がなく、銭湯がない。そのためトイレの水を浴びるしか方法がないので、水道の位置は敷地を決める際の重要な指標となる。【KNA1】では公共の無料のシャワーを活用している。湘南海岸沿いには海水浴客やサーファー向けの無料のシャワーが点在している。そのため公共の設備でシャワーが浴びられる。

電気

乾電池を使って懐中電灯を使っている例が多くみられた。【KNA2】では乾電池がゴミとして出される日に乾電池を集めてきて残っているものを利用する。人々の生活でいらなくなったものの寄せ集めで生活している。【KNA1】では近くの教会で電動工具用のバッテリーを充電することで電気を使っている。充電できる場所のような拠点があることは、生活する上で大きな役割を果たす。

3.1.3 余暇活動・趣味

各事例において様々な余暇活動や趣味による自由な暮らしがみられた。【SZB1】においては、植物が好きで、外で暮らすため、大きな庭を持っている感覚で、四季の移り変わりを楽しんでいる。このように外で暮らすのが故の楽しみがある。【TYB2】においては毎週日曜日に物々交換のカフェを開き、毎週火曜日にお絵描きの会を開いて、他のホームレスや地域の人を招いている。それに合わせた住まいづくりがなされており、人が通る場所から見える位置であるため、新たなコミュニティが生まれている（図 11）。【STB2】は釣りが趣味である。夜釣りをしており、家に帰るのが面倒で TENT を張るようになった。そこからホームレスに転じた。ホームレスになることで趣味を謳歌している。

3.2 コミュニティー

集住型、集落型、個人型を図 12 のように定義する。集合形態としては、集住型よりも個人型のほうが多くみられた一方で、個人型の中では集落型のほうが多い（図 13）。集落型と単独型を比較しても、かなり集落型のほうが多い。何かしらの形態で集まって住むことで、生活を豊かに、コンパクトにしているとみられる。

3.2.1 集住型ホームレスハウスにおける人間関係

集まって暮らすホームレスハウスがみられた。一緒には暮らすが、財布や食事は別といった例が多くみられた。【AIA14】は親方が家を全て作った。また【AIA19】では【AIA20】に自転車を修理してもらっていた。このように、適度な距離を保ちながら役割分担をすることで、生活をコンパクトにしている。一方で【AIA6】ではたまたま知り合った 3 人で暮らしており、食事を 3 人でとる。【KNA2】では親分が誘ってきた 3 人で暮らしており、稼いだお金を 1 つの財布にまとめるほどの共同生活が行われている。元々他人であった人物同士が共同生活を行うことで、生活を豊かにしている。

3.2.2 集落型ホームレスハウスにおける人間関係

ホームレスハウス集落が形成されている例がみられた。たまたま誘われたなどきっかけはさまざまである。【AIA】では、愛知万博のときに行政によって若宮大通に集められたため、集落が形成されている。集落で生活するメリットがみられた。【FOA1】では集まって建てられてるがゆえにいたずらされずに残っており、【FOA1】を隣に住むように誘った【FOA3】も集まって住むことで安心を得ている [11]。【TYB2】では炊き出しでもらった食材や手に入れた廃材を分け合って生活する様子が見られた。土地の効率利用だけを考えた現代の集合住宅とは違った、安心を得る、共助を行うといった、豊かな集落での暮らしがみられた。

3.2.3 近隣ホームレスとの人間関係

ホームレスハウスの周囲では、缶拾いなどで顔見知りになることが多い。【KNA1】では教会に出入りしている人と顔見知りではあるが、挨拶程度の関わりである。このように、深くは関わらないといった例が多くみられた。その中で、【FOB1】では、

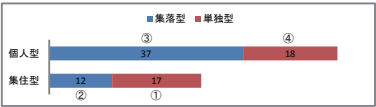


図 13 集住型、集落型割合

	集合形態①		集合形態②		凡例
	集住型	個人型	集落型	単独型	
ダイアグラム					● : 当事者 ▲ : 他人 □ : ホームレスハウス
特徴	壁など建物の一部、リビングなど空間の一部を他人と共有しているもの	1人で生活しているもの	周囲に他人が住んでいるもの	周囲に人が住んでいないもの	
調査件数	11集住 29件	55件	20集落 264件	43件	
集合パターン	①建物の一部を共有している →集住型かつ単独型	②集住かつ、周囲に他人が住んでいる →集住型かつ集落型	③1人で暮らしているが、周囲に他人が住む →個人型かつ集落型	④1人で生活している →個人型かつ単独型	

図 12 集合形態分類

地域の人が空き缶を持ってきてくれるが、年金生活をしているため、他のホームレスにあげている。【MGA3】では、様子がおかしい隣人を覗きに行き、救急車を呼んであげたことがある。【AIA19】では現在住んでいる場所に入居する際、隣人に挨拶回りをした。このように共助を行いながら暮らしている例がみられた。

3.2.4 地域との人間関係

地域の人とはあいさつ程度の関わりしかないといった例が多い。一方で、地域の役に立っている例がみられた。【HSA1】ではアルバイトとして、住んでいる公園やその周囲の清掃を行っている。【FOA3】は、増水によって土まみれになってしまった河川敷の遊歩道を人が通れるように掃除した。【SZB1】では暮らしている静岡市民文化会館のためになっている様子が見られた。バスロータリーから生垣の隙間をショートカットして枝を折る人がいるので、生垣を通れなくして守ったり、駐輪場のそばに暮らしていることから、駐輪場に目を光らせて自転車泥棒をさせないようにしたりしている。【MGA1】ではホームレスハウスが建っていることで、薄暗かった場所が、人目があるため安心して散歩できる場所になったという声がきかれた。これらのように、人々の生活から溢れ出たものを吸収するだけでなく、暮らしに還元している例がみられた。

4 ホームレスハウスの特性

図 14, 15, 16 にそれぞれ、各都道府県と形状、敷地用途と形状、敷地用途と構造の割合を示す。表 6, 7, 8 にそれぞれそれらの特徴を記す。これらから読み取れるように、それぞれにおいて場所性などの特性がみられた。生活においても場所性がみられた。収入源に関して、全国的に空き缶拾いで収入を得ている事例が多くみられた。一方で、仙台では空き缶拾いの文化がない。炊き出しなどを活用して生活している。入浴に関して、銭湯に入るといった事例が多くみられた。一方で、沖縄には湯船に浸かる文化がなく、銭湯はない。トイレの水を浴びることで毎日の入浴としているので、トイレの位置が敷地決定の重要な決め手となる。また、湘南海岸にはサーファーや海水客用の公共の無

料のシャワーがある。そこでシャワーを浴びるといった例がみられた。このように、ホームレスハウスの作られ方とその生活においては、身の回りのさまざまな要素が絡み合っ構成されており、ある条件によって特性が表れることが明らかになった。

5 結論

ホームレスハウスにおけるコンパクトかつ豊かな暮らしがみられ、加えて以下が明らかになった。

- ①小さな要因が重なり合っ、ホームレスハウスの要素を構成している。
 - ②家づくりにとどまらず、生活や余暇活動においても、ニーズや考え方を反映した暮らしが展開されている。
 - ③人々の生活からあふれ出したものを享受するだけでなく、人々の暮らしに還元を行っている。
- これらから、ホームレスハウスでは「弱い計画性の統合」「自ら作り出す豊かさ」「人々の暮らしの余剰部分を吸収し、還元するサイクル」が組み合わさった環境共生型の暮らしがなされているといえる。

参考文献
1)「全国ホームレス調査（ヒアリング）調査都市別」（厚生労働省/2016）
2)「ホームレスハウスをとりまくライフスタイルからみた現代における住まいづくりの応用の可能性に関する研究」（野田裕介 / 大阪市立大学卒業論文/2016.3）

表 9 ヒアリング回答

〈材料調達〉

[1] ここで材木買ってあの、あそこまで配達してもらったですね。配達料、こっから二千年橋で360円だったんですね。/FOA1

[2] 物を運ぶときは会社の車でさ、すぐそこまで軽で。2tとかああいうトラックじゃなくて、軽で運べるものにして、すぐそこまで、入ってこれるから、そこまで入ってきて、だーっと降ろして。/KNA1

〈依存型の構造〉

[3]（地震の影響とかはなかった？）20cm ぐらい下がった（そうなんですか、この辺も結構揺れました？）揺れたよ。（大丈夫でした？物が崩れたりとか）なかったね、橋の下に免震装置ついてたからね、2回目の地震で下がったんですけどね、あれはびっくりしたね /KUA1

〈集住〉

[4] 【FOA3】さんが隣におるけんね、それで壊されたりする危険性が少なくなってる。（集まっすまれた方が安心というか、まわりからいたずらされる心配もないですもんね。）【FOA3】さんもそれは言っはったです。こはやっば3人ぐらいいのがちょうどいい。って言っはったですね。まわりがいなくても誰か1人ぐらいは残るかなって言っはったですね。自分とこは安徳さんいるもんで入り口のシート破かれるぐらいで、荒らされることなくですね。でももう、あれだけ荷物しっかり残っはったんでちょっと安心しました。/FOA1

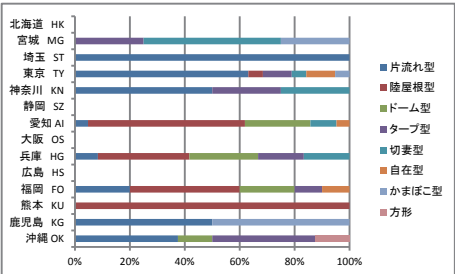


図 14 各都道府県別形状割合
表 6 都道府県からみた形状の場所性

形状	特徴
片流れ型	埼玉、東京、神奈川の首都圏に多くみられた。これはホームレスハウスが密集しており、半屋外だけでなく、屋外に多く建てられているためであると考えられる。
陸屋根型	西日本では陸屋根が多い。これは橋の下または高架下の割合が多いからであると考えられる。
タープ型	沖縄と首都圏で多くみられる。これは別々の理由が考えられる。沖縄では台風により建てたみやすいためである。一方で、首都圏ではつき1度の公園清掃があるので、それに備えてたみやすくしている。

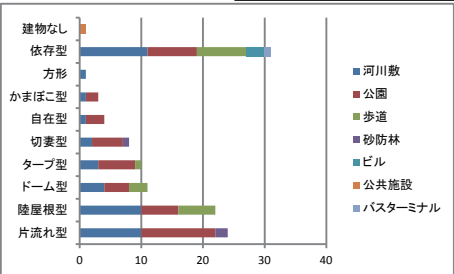


図 15 形状別敷地用途割合
表 7 敷地用途からみた形状の場所性

敷地	特徴
河川敷	他の形状とは異なり、河川敷の割合が多いのは陸屋根型である。これは、陸屋根は他の形状と違って、雨のあたらない場所に建てられる場合が多いので、橋の下に割合が多いからである。
公園	屋外が多いので、雨仕舞いを変えられた形状の割合が多い
歩道	陸屋根型が多いのは、高架下に建てられているからである。また、ドーム型やタープ型が多いのは、人通りが多い場所であるため、簡易的な作りになっているからであると考えられる。

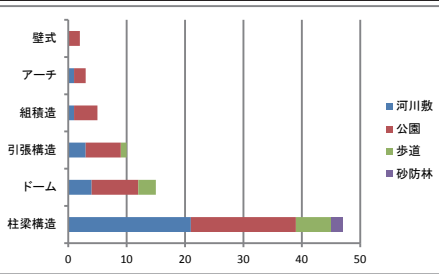


図 16 構造別敷地用途割合
表 8 敷地用途からみた構造の場所性

立地	特徴
河川敷	柱針構造のみ割合が高くなっている。河川敷には腰をすえて定住する覚悟で増々なものを作る傾向がみられる。